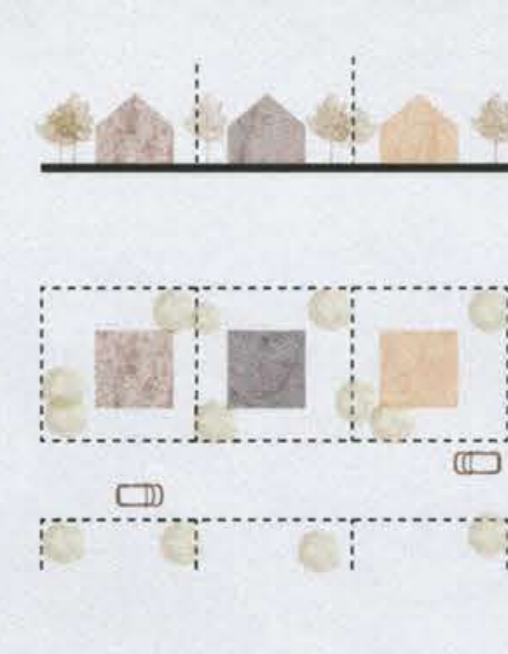


□都市に住む快樂とは - 営みの気配を感じる -



一人でカフェから外の人々を眺めたり、広場で一緒に音楽を聴いたり、都市のなかで人の営みを感じられることが都市に住む快樂ではないか。

□人の「暮らし」が集まる都市：住宅街



□Design Diagram



Design Process
住宅街に集まったさまざまな暮らしの気配を感じることを目指す。

境界を考え直す。住宅をひだ状に切り取ることで、街と接する表面積の大きい境界をつくる。

切り取られたひだの高さや奥行きの違いにより住宅内の住人同士の気配や住宅内の住人と地上の人々の気配、地上にいる人同士の気配を感じる。そして、街にこのような住宅が増えることで、住宅街の暮らしの気配を感じる。

□Section Diagram



ひだ状にすることで、子供の視線、大人の視線、座っているときの視線、足だけ見える高さを作り出し、気配の感じ方を多様にする。ひだの高さの違いにより、多様な動線が生まれる。



Urbanized Neighborhood



2F plan
scale = 1 : 200



切り取られたひだに街の要素や住む人々の姿が引き込まれ、住宅内にいながら人の営みを感じることができる



室内の営みが街を照らす



D-D' section



C-C' section



B-B' section



A-A' section



屋根を突き抜けたひだの窓から、昼の光が差し込み、夜には星空を見ながら湯船につかる



ひだにはさまれた子供の空間と外から笑いが聞こえる



ひだにより地上が開放され、まちの人の営みが変わる



ひだの下に生まれる街の人の営みを感じる